



枚方宿 鍵屋資料館



新しい年にむけて
新年明けましておめでとうございます。
昨年は、大変大きな事件があり、「保護司の役割を土台から脅かす程の出来事」がございました。この事件から法務省が専門職の意見を聞き、今後の対策を検討されるようです。
しかし、保護司の役割は長い歴史を経て、今日の姿になりました。安全対策を図りつつ、充分なコミュニケーションを取り、「犯罪のない明るい社会」を目指していきたいと思えます。また、保護司の一人一人が日々の努力を積み重ね、益々充実した保護司活動へと成長していくものと期待しております。
当枚方・交野地区保護司会では、2か所のサポートセンターを設置しております。このサポートセンターの合理的活用を推進していく事が、大切な役割ではないかと考えます。その原動力を担うのは、企画調整保護司を中心とした、



枚方・交野地区保護司会
会長 清水 和明

TOPICS

1面 新春の御挨拶
2面 第74回枚方・交野地区社会を明るくする運動
3～6面 作文コンテスト優秀作品特集
7面 保護司会の活動報告
8面 保護司の栄誉と動静



大阪保護観察所
所長 山田 浩司

新春に寄せて
新年あけましておめでとうございます。

保護司全員の創意工夫の上になり得るものと捉えております。
例えば、サポートセンターで対象者と面接時に、就労が未だ決まっていない対象者に対して、その場から、雇用主会やハローワークまたは、枚方市等へ連絡をとり、具体的な話を進めることが可能であります。このような事が日常茶飯事に行われるような体制を作り上げることだと思います。私達保護司が総力を挙げて、その方向性を整えていかなければなりません。
本年も、犯罪のない明るい社会を目指して、再犯を繰り返さないよう、対象者へ心のこもった面接を行い、就労支援をお願い申し上げます。
皆様のご健康とご活躍を切にお願い申し上げます。新年のご挨拶と代えさせていただきます。

「場づくり」を進めています。また同時に保護司を任命。この保護司の経験は対象者/保護司/観察官など境遇や環境の違う多くの人々との邂逅を通して、多様なチャネル/レイヤーの重なりをリアルに体感、顔を合わせることが肝要であるなど、多くを学ばせて頂きました。
昨年9月24日付で保護司は退任致しましたが、これからは地域共同体の在り方を模索・研究してゆく所存です。
心機一転、さらにサポートセンターを充実させていきたいと思っています。
面接場所・各種会議や交流の場として皆様方の倍旧のご活用をよろしくお願い致します。(副センター長 廣田 恭孝)



ホームページへのアクセスはこちらから

保護司の栄誉

- ◎法務大臣表彰
宮内深智子
吉見喜代美
- ◎全国保護司連盟
理事長表彰
称宜ひとみ
- ◎近畿地方更生保護委員会
委員長表彰
橘 隆
中島 秀芳
森 均
柿木 隆
藤田 卓伸
石橋多代子
- 委員長感謝状
株式会社ダムフォールズ
代表取締役 瀧川 英俊
- ◎近畿地方保護司連盟
会長表彰
立浪 友康
松田 浩
安本 好人
奥野 幸一
高橋 節子
- ◎大阪府知事感謝状
高橋 節子
- ◎大阪保護観察所
所長表彰
早川 孝
辻 美希
小川 眞乗
小川 光

◎大阪保護観察所
所長表彰

【永年】

- 大塚 光央
芝田 実
津上 孝子
吉田 薫
谷 恒雄
- ◎大阪府保護司会連合会
会長表彰
小林 健人
藤本 正行
濱田 充代
- ◎大阪府保護司会連合会
会長感謝状
浅田 純子
- 【家族】

保護司の動静

- ◎新任保護司
◇令和6年9月25日付
岡市栄次郎
池上 康幸
豊田 文夫
乗次 仁
山田 恵子
- ◎退任保護司
◇令和6年9月24日付
井本 由之
(名誉会員)
- 悼
※井村 秀明
(※印 名誉会員)
謹んでご冥福をお祈りします

退任のあいさつ



人と人をつなぐ建築を設計してきた者として、平成19年のリタイア後に始めた自治会/コミュニティ活動は新たな実践の場となり、プロジェクトマネジメントを基調に「見える化」

新任のあいさつ



令和6年9月25日付けで保護司に委嘱されました岡市栄次郎です。私は、市議会議員と会社

交野サポートセンター
移転しました

8月下旬、市役所の総務課・福祉総務課の方々の全面協力をいただき、引越しが無事終了しました。
酷暑の中、汗まみれになり乍ら荷物の積み込み、運搬そしてゆうゆうセンター内への据え付け等、本当にお世話になりました。厚く御礼申し上げます。

サポートセンターかたの場所
交野市大野が原5丁目5-11
交野市立保健福祉総合センター
(ゆうゆうセンター)1階
休館日 水曜日・日曜日・祝祭日
定例会年末年始等
電話 072-80816200
開館時間 10時～16時

編集後記

社会を明るくする運動の一環として実施している作文コンテストに多数の応募をいただきましたありがとうございます。
昨年には保護司にとり、大変な事件が起き、私達や社会にも大きな衝撃を与えました。
課題が多く残る中での保護司活動ですが、「過ちに堕ちた人々たちへの更生に尽くす」という信条のもと、安心・安全な社会の為にこれからも貢献してまいりたいと思います。今年は良き1年になりますように。



豊田 文夫



山田 恵子



池上 康幸



乗次 仁

地域に根ざした活動をしていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

はじめまして！新任です。



「明日、転機になあれ。」氏の、「明日、転機になあれ」の演題で語っていただきました。

同氏は10代で暴走族に加わり、窃盗や暴力行為などで数度、少年鑑別所に入り、19歳の時には少年院送致となりました。その少年院で聖書に出会って、クリスチャンとなり、

合同研修会

保護司会の活動報告

組織部では、更生保護女性会やBBS会、協力雇用主会など更生保護に関係する他団体と協力して、年1回、合同研修会を開催し、会員相互の見識を高めています。

今年は、8月22日、交野市保健福祉総合センター（ゆうゆうセンター）において、更生支援団体を運営されている野田詠氏（えいじ）氏に、「明日、転機になあれ」の演題で語っていただきました。

管内研修

令和6年度の管内研修は、交野女子学園にお伺いしました。全国に9ヶ所ある女子少年の矯正施設の一つですが、これまでに関わったことのある対象者の様な少女たちが、更生しようと励んでいる様子をうかがえることと楽しみにして行ってきました。施設は昭和56年改築後43年を経過しているものの気持の良い環境と感じました。定員91名に対して30名程度の収容となっていて若干の増加傾向となっているそうです。

間違いを犯してしまった子



近畿地方保護司代表者協議会

令和6年度 近畿地方保護司代表者協議会が11月19日ホテルボストンプラザ草津びわ湖において開催され、清水会長が地区代表者として登壇発表されました。

当保護司会理事の皆様の意見を集約した内容の発表で、観察所をはじめ関係者と参加された皆様から多くの関心が寄せられました。

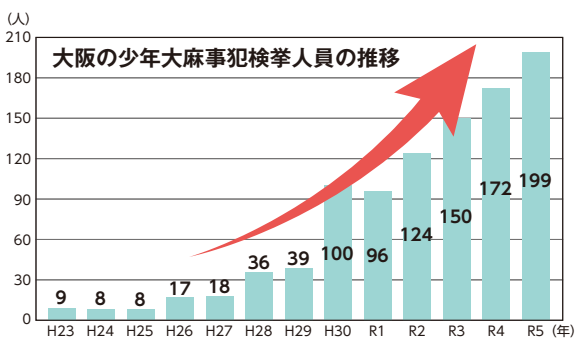


大阪府薬物乱用防止 北河内ブロック協議会に参加して

今、大阪の少年の大麻事犯検挙人員の推移は右肩上がりです。

講師の方が「単に説教や叱責・苦言・小言といったもので少年の考えや行動を変える事は出来ない。」

特に薬物依存者の援助の際、相手の話をよく聞き信頼関係を構築し、自尊感情を高め、



(令和4年中)

順位	府県	少年総数	少年の占める割合
	全国	914	17.1%
1	大阪	172	29.6%
2	東京	98	12.7%
3	神奈川	95	20.2%
4	兵庫	74	22.9%
5	愛知	62	15.7%

自分を大切にする気持ちを高め、自分を大切にする気持ちを育むようにすることが大事」と力説されていました。

私は共感し保護司として対象者の心の内面に迫るような来談を目指し取り組んでいこうと思いました。

学びの多い大会でした。

(指導員 吉田 薫)



第74回「社会を明るくする運動」

「犯罪や非行のない安全で安心して暮らすことのできる社会」の実現を目指し、法務省主催で毎年7月を強調月間とし全国一斉に展開されている「社会を明るくする運動」は今回で74回を数え、枚方・交野地区においては7月2日に、枚方市総合文化芸術センターで開催されました。

具体的に語られました。

記念講演 チャレンジする事・ 障害のあるなし

・講師／達 淳氏

大阪府岸和田市出身の俳優で数々の有資格者。その一つの気象予報士として読売テレビ「すまたん」にレギュラー出演中。この日も大阪城公園からの放送を済ませて会場入りされました。

障害のある方たちと取り組まれている「殺陣」について、映像を交えて活動の始まりから現在とこれからを

具体的な語りがありました。

障害のある方はある意味で「守られている」けれど、ここでは競争や合否もあり、素足も平気の真剣勝負。

その結果去る人もいたけれど前向きに努力する人もあり、今では親御さんたちの手作りの舞台装置で、いろんな場を舞台として活躍中だそうです。

プライドを持ち生き生きと輝きたい気持ちは「障害」の有無とは無関係、みんな同じで、熱い思いが伝わりました。



この活動は講師ご自身にとってもライフワークのようです。いつか私たちもこのチームの「殺陣」の舞台を見る機会を得たいものです。

主な取組

- 一、枚方・交野の駅において、啓発物品の配布（6月20日）
- 二、標語パネルの各団体の掲示
- 三、作文コンテストの実施
- 四、地元関係4団体にテント贈呈



枚方・交野地区 社会を明るくする運動
「大会に参加して…」
(参加者のアンケート回答より抜粋)

●参加者のほとんどが、60～80歳代であり、その80%が「この大会は以前から知っていた」と回答。「広報紙やチラシを見たり知人からの誘いで初めて参加した」という人は、わずかでした。

●「立派な大ホールで開催されているのに参加人数が少なく、もったいない」「開催の季節・日時・PR方法を熟考し、幅広い年代の参加者を募る努力が必要だ」

●「開催時期や開演の時間を工夫する」ことで、「各方面の参加者が増えるのではないか…」

第74回「社会を明るくする運動」 チャリティーゴルフ大会

去る5月16日（木）飛鳥CCに於いて、表記大会が挙行されました。枚方・交野地区からは、5人の参加を得ました。

チームAは京谷名誉会員、北川保護司、（淀川地区）藤岡保護司、チームBは野崎保護司、藤田保護司、恵阪保護

司の組み合わせでございました。

成績発表！

団体の部：優勝 チームA
個人の部：準優勝へストグロス賞
京谷 譲氏（41・37歳）
特別表彰：エイジシユート賞
（飛鳥CC認定書）
京谷 譲氏（83歳・78）

次年度以降も、保護司会活動と併わせ、多数の参加を願っております。

(木崎龍彦)

わない人もいれば、自分が悪い事をして
いたとハッと気付く人もいます。
祖母の話の中で、小学生が面白半分で万
引きをして悪いと気付かなかった時は、
腹が立つよりも悲しくて万引きする子が
可哀想に思った、と言っていたのが私の
心に一番残っています。感情的に怒るの
ではなく、しっかりとした態度で叱る事
が大切だとも言っていました。

私と同じくらいの年の小学生は、友達
と一緒に面白半分でスリルを味わうため
にする子もいるし、遊びの一つとしてす
る子もいるのではないのでしょうか。昔か
ら「朱に交われれば赤くなる」ということわ
ざがあるように、一人ではやらないけれ
ど、周りの友達がやっていたら釣られて
やってしまう子もいるのではないでしょ
うか。でも、万引きはやってはいけない事
だから友達に言いくくても勇気を出し
て注意して止めないといけないと思う。
友人関係や家や学校での悩みを抱えてい
る子もいるかもしれない。万引きは家族
みんなを悲しませる犯罪なので絶対やっ
てはいけない。大人の中にも万引きをす
る人がいるとニュースやテレビ番組で
知ったのですが、ではなぜ大人の中にも
する人がいるのか不思議に思います。調
べてみたところ、経済産業省の発表によ
ると全国での万引き被害額は一日あたり
約一二億六千万、年間では約四六一五億
とされています。さらに調べると、成人は
ストレス解消のために繰り返したり、お
金に困って食料品を盗む場合もあるそう
です。高齢者の中には、認知症の影響で万
引きしてしまったり、孤独感から盗ん
でしまったりする事が多いそうです。最近

「社会を明るくする」ために、少しでも
理想の世界に近づくために、「人を頼るこ
と」が私は大切だと思う。

私はバレーボール部に入学している。

●枚方・交野地区保護司会 会長賞 人を頼り、支え合う

交野市立第三中学校3年

白濱

咲希

になり、部活を辞めるか迷っていた。そん
なとき学校で心と体のアンケートとい
うのがあった。私は勇気を出して部活のこ
とで悩んでいて顧問の先生に相談をした
いと担任の先生に伝えた。顧問の先生は
すぐに時間を作ってくれた。そして私は
今まで溜め込んできた思いを話した。そ
うしたら先生は私にたくさん温かい言
葉をくれた。特に嬉しかった言葉は「あな
たの明るくて優しいところが好き」だっ
た。先生は私のことを受け入れてくれて
いて、私は一人じゃないと教えてくれた。
先生の言葉に涙ぐまれた。顧問の先生
以外にも、家族や他の先生、いつも仲良
くしてくれる友達に氣にかけてくれ、言葉
をくれた。周りの支えのおかげで最後ま
で部活を続けられ、引退試合ではしあい
に出れて嬉しかった。私が周りを見てい
ないだけで、周りには支えてくれる人が
たくさんいた。そのときに人を頼る大切
さに本当の意味で気づかされた。道德の
授業などで考えたりして気づくことがよ
くあるが、辛いことや人の温かさを経験
したからこそ気づくことができた。

だから私は「社会を明るくする」ために、
「人を頼ること」が大切だと思った。犯罪
や非行をしてしまう人が、どういう思い
で生きているのかは私には想像がつかない
けど、きっとどうしたらいいのかわか
らず、困っているのだと思うから、周りの
人に頼ってほしいと思う。私がどうこう
できるわけではないけど、伝えたい。「あ
なたは一人じゃない。周りには支えてく
れる人がたくさんいる。」と。だけど環境
によっては本当に一人で辛い状況に立っ
ている人もいるかもしれない。そんな人
に「他人を変えようとするより、自分が
変わったほうがうまくいく。」
これはデール・カーネギーさんの「人
を動かす」という本の一文です。この本は、
人間関係やコミュニケーションの原則を
事例豊かに説いた名著です。
この一文を読み、わたしは「自分の扱い
方を変える必要があると思いました。
私が中学一年生の冬、いつも一緒に居
た子に、「距離をおきたい」と何の前触れ
もなく言われてしまった。
わかった。とは言ったものの、正直わ
かっていた。何かその子にしちゃった
のかな、あるいはひどい言葉を言ってし
まったのかなと考えるようになり、授業
もぼーっとしてしまふことが増えた。
私たちは普段から率直に意見を言い合
う関係だったのでどこで間違った事を
言ってしまったのかと思い、担任の先生
と副担任の先生を挟んで、友達と会話す
るようになってしまい、その後しばらく、
私たちは冷たい関係が続きました。
ある日、友達から、「二人で話したい」と
言われ、相手に向き合えていなかった
のは私の方だったと気づくことができた。

●枚方・交野地区保護司会 優秀賞 すれ違いからえた学び

枚方市立東香里中学校2年

守

優莉

放課後、二人で話し合い、お互いに思っ
ていたことをおつけ、どうしてそんな風
に感じたのかを理解し合うことで、私た
ちは問題を解決することができました。
この経験から学んだ一つ目は、自分が
どう思うかより相手がどう感じるかです。
最初の本の一文でも言っていたように、
コミュニケーションにおいて重要な原則
です。私たちは自分の意見や感情を伝え
たいと思うことが多くと思うのですが、
同時に相手の感情や受け取り方にも配慮
することが大切だと思いました。
二つ目は、言葉や行動の選び方です。言
葉や行動の選び方は、相手との関係に大
きな影響を与えます。たとえ自分ではそ
の場のノリで言ってしまった軽い言葉で
も、相手にとっては心に傷を残してしま
うことがあります。だからこそ、自分の行
動を慎重に選んで、相手の気持ちを尊重
する姿勢を持つことが大切だと思います。
また、すれ違いや喧嘩は、さけたくても
避けがたいものですが、それを乗り越え
ることで関係が深まるチャンスにも変え
ることができそうです。お互いに正直であ
ること、理解し合うこと、そして共に解決策

七月最後の日曜日、自治会の草ぬき
がありました。ひなん場所になっている集
会所や、登校班の待ち合わせ場所である
公園などの草をぬいてきれいにするとい
う行事です。新型コロナウイルスがはやりだ
してから、中止となっていました。復活し
たので、私は両親と一緒に初めて参加し
ました。
少し面倒くさいなあとも思いましたが、
草ぬきの後に楽しいイベントもあると聞
いたので、がんばりました。思っていたよ
り人が多く、同じクラスの友達も来てい
ました。梅雨明けすぐの一番暑い時期で
したが、だつこひもの赤ちゃんから、白髪
のお年寄りまで汗だくになってがんばっ
ていました。こうやって登校班の待ち合
わせ場所の公園はきれいになっているん
だなあと知りました。
暑くてヘトヘトで集会所に戻ると、自
治会の人達が、次のイベントの用意をし
てくれていました。一階は、冷たいジュー

では、転売目的で万引きを繰り返したり
する人が増えているそうです。
万引きをする人を減らすためには、大
人になっても私が絶対にしない事、友達
や知り合いがしそうな事になっていたら勇
気を出して注意して止める事、地域の人が
孤独を感じないように積極的に話しかけ
たり挨拶をする事が大切だと思っています。
私はよく色んなお店で、防犯カメラ作動
中と書いてあるポップを見かけます。そ

のポップも万引きする人を減らすための
活動だと気づきました。私は今まで、社会
を明るくするために自分に何ができるの
かを深く考えた事がありませんでした。が
この作文を通して私が今できる事を考え
たり、みんなができる事を考えたりする
と少しでも万引きをする人が減って地域
や社会をより明るくする事ができるの
ではないかと思いました。

●枚方・交野地区保護司会 優秀賞 地域のつながり

枚方市立津田南小学校5年

清水

美緒

スヤカキ氷、大人にはビール、からあげに
ポテトフライなど、たくさん食べ物が
あり、みんなとても喜んでいました。私の
両親も友達のお母さんも喜んでかんばん
をしていました。二階は、見守り隊のおじ
いちゃん、おばあちゃんが屋台を開いて
くれており、輪投げ、型ぬき、スマー
トボール、射的の四つで遊びました。成功
するとおかしやおもちがもらえました。
その中でも、型ぬきは難しく、何回も
ちようせんしました。でも、おもちやは
もらえませんでした。それでも、おかしは
もらえたし、楽しかったです。
見たことのない人や、顔だけ知ってい
るけど名前の知らない人もたくさんいて、
自分の町にこんなにいろんな人が住ん
でいるんだなあと思いました。
お母さんが子どものころは、こうい
った地域のイベントがたくさんあり、町中
の人が顔見知りだったと言っていました。
最近では、一人暮らしのお年寄りが多い

こどく死が問題になっていたり、女の
人も社会に出て働くようになって、ヤン
グケアラの問題もあつたり、一人では
みがかえこんで困っている人が多いよ
うに思います。こういう地域の集まりが
増えて、気軽に相談できて、楽しく過
せたら、そのような問題も、少しは解決
するかもしれないなあと思いました。見
守り隊の人に「おはよう。」と声をかけ
てもらったら、うれしいし、一日が
んばろうという気持ちになります。ち
よつとした声かけなどで、人の気持
ちは明るくなり、はげまされたりし
ます。みんな、いそがしくて、心によ
うがなないかもしれないけど、一人
一人のちよつとした声かけや人との
つながりが、人の気持ちを救ったり、
気持ち明るくしたりするのではないで
しょうか。
何か大きな事をするのではなく、家
族や地域の人のつながりなど、人と
人とのコミュニケーションが社会を
明るくするのに、一番大事な事では
ないかと私は思います。



アカルイーネちゃん